

令和5年度第2回春日井市地域自立支援協議会に係る事前質問と御意見

質問者	資料No.	質問内容	回答者
服部委員	資料2-5	相談支援事業所しゃきょうの報告にも「入居後にグループホーム側に対応できないと断られた方などがいた。」と記載されています。こういった状況でこのようなことになってしまったのでしょうか。	しゃきょう
三輪委員	資料2-2	地域課題「市外の住宅型有料老人ホームに移行せざるを得ない」→経済的負担は大きくないですか？	かすがい
三輪委員	資料2-2	相談の傾向と所感の1つ目「通所の送迎サービスの調整が困難なことがある。」→最終的には送迎できていますか？	かすがい
浅野委員 (御意見)	資料2-1 資料2-2	春日苑「2人対応が必要なケース」 かすがい「通所の送迎ニーズは高まっている」 この2つの内容は共通しないのかもしれないが、サービス利用者の現状に対応するための事業所の努力によるところがあるように伺え、資源と人材の限りがある中での狭間となる部分をどのように解決していくのか難しさを感じた。	
三輪委員 (御意見)	資料2-1	相談の傾向と所感の2つ目「ヘルパーの2人対応が必要なケースがあり、人員不足で苦勞している居宅介護事業所が多く調整に難航している。」→夕方時間帯に2人対応の入浴介助を利用していたが人員不足で断られたケースもあった（今は訪問入浴を利用）。また男性ヘルパーも少ない。	
三輪委員 (御意見)	資料2-3 資料2-4	地域課題「事業所の質の向上」→事業所の数が増えても実際に利用できる場所でないと特に医療的ケアのある人、重度の障がいがある人は困ります。	

浅野委員 (御意見)	資料2-4	<p>あっとわん「支援の質の向上について」 課題として取りあげて下さってありがとうございます。 地域社会への参加・包容(インクルージョン)を推進できていくために、児童発達支援事業(未就学までの年齢の子どもを対象)において発達支援、家族支援、地域支援の大きな枠組みでご本人を支援していくことが役割としてあります。発達が目まぐるしく人格形成の基礎を築く大切な時期をどのように支援していくのか、その支援の在り方を共有しながら体制を整備していく必要が生じてきているように思います。</p>	
服部委員 (御意見)	資料2-3	<p>相談支援事業所まあるの報告でグループホームの「チラシを見て電話してみたが電話が繋がらず、後日、オープンしないまま閉鎖したことを知った事業所もあった。」と記載されています。入居者がいなかったのは幸いだったと思いますが安易に新規参入する事業所については今後注意が必要だと思います。</p>	
服部委員 (御意見)	資料3	<p>障がい者支援センター連絡会の報告4 今年度の取り組みについて「ホームページを立ち上げ6月から閲覧できるようになりました。」と記載されていたので閲覧させていただきました。とても分かりやすく、充実した内容でした。今後、福祉サービス事業所を探したい方々にとって役立つことと思います。</p>	